

# 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の温室効果ガス排出量について（平成19年度確定値及び平成20年度暫定値）

平成21年6月26日

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

当機構は、平成19年7月2日、「京都議定書目標達成計画」及び「政府がその事務及び事業に関し温室効果ガスの排出の抑制等のため実行すべき措置」に基づき、「独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構における温室効果ガス排出抑制等のための実施計画」（以下「実施計画」という。）を策定し、平成18年度比で平成24年度までに概ね6%削減することを目標とし、温室効果ガスの排出削減への一層の取組を図ることと致しております。

今般、平成20年度の温室効果ガス排出量（暫定値）を推計したので、平成19年度の排出量を暫定値から確定値に更新したことを含め、お知らせ致します。

## 1. 平成19年度の排出量の更新

平成20年6月23日の機構HP及び「環境報告書2008」において公表した平成19年度の総排出量 912,246kg-CO<sub>2</sub> について、以下の変更を行うことにより、確定値として 1,107,043kg-CO<sub>2</sub> に変更しました。

- 電気の使用に係る温室効果ガス排出係数について、平成18年度の電気事業者別排出係数を、平成19年度の電気事業者別排出係数（平成20年12月19日経済産業省・環境省告示第8号）に更新して推計しました。

## 2. 平成20年度の排出量（暫定値）

平成20年度の当機構の温室効果ガス排出量について、平成20年度の電気事業者別排出係数は公表されていないため、暫定的に平成19年度の電気事業者別排出係数を用いて推計した結果、991,820kg-CO<sub>2</sub> でした。

本部執務室の省エネの徹底及び照明照度の調整等による 55,022kg-CO<sub>2</sub> の削減を達成するなど、エネルギー使用量では基準年度比7.5%の削減を達成しました。（他方、平成19年度の電気事業者別排出係数が基準年度（18年度）比25%増（※本部において）となったため、CO<sub>2</sub> 換算では基準年度比10.9%増となっております。）

なお、平成20年度の温室効果ガス排出量は、今後公表されることになる平成20年度の電気事業者別排出係数を用いて、平成21年度の温室効果ガス排出量の推計を行う際に確定値を推計し公表する予定です。

## 3. 今後の取組

実施計画に掲げた平成24年度までに平成18年度比6%削減するという目標の達成に向け、今後においても引き続き、役職員の残業抑制、ペーパーレス、空調温度の適正化（夏期28℃等）、職員の意識向上等に更に徹底的に取り組んで参ります。

以上